

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

令和元年度病害虫防除情報第4号

海外飛来性害虫の飛来状況についてお知らせします。
各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

**トビイロウンカの飛来が平年より多く確認されました。
今後の発生状況に注意し、適期防除に努めましょう。**

1. 作物名 普通期水稻、飼料用イネ

2. 病害虫名 海外飛来性害虫
(トビイロウンカ、セジロウンカ、コブノメイガ)

3. 発生状況

(1) トビイロウンカ

トビイロウンカの本年度の初飛来は6月6日であった。その後、7月2～3半旬にトビイロウンカのまとまった飛来があり、6月1半旬から7月3半旬における予察灯のトビイロウンカの累積誘殺数は70頭(平年26.6頭、前年2頭)で平年より多い(表1、図1)。

(2) セジロウンカ

セジロウンカについては6月2半旬にまとまった飛来があり、その後も断続的に飛来が認められた(表2)。

(3) コブノメイガ

コブノメイガの本年度の初飛来は6月16日であった。7月中旬に行った巡回調査の結果、発生面積率は17.1%(平年9.5%、前年0%)、被害葉率0.04%(平年1.6%、前年0%)で平年比やや多の発生である(図2)。

4. 防除上の注意

(1) トビイロウンカ

ア 7月10日の飛来個体を対象とした各地域の予想される防除適期(幼虫ふ化)は、表3のとおりである。今後の飛来状況や気象条件によっては、防除適期がずれる可能性があるため、最新の防除適期については当センターのホームページで確認する。

イ 本虫は株元に生息し、現在、低密度であっても、増殖率が高く、その後坪枯れを引き起こす場合があるので、薬剤は株元に十分到達するよう散布する。

ウ 箱施薬剤を使用しているほ場でも、薬剤によっては効果が劣る場合があるので発生に十分注意する。

(2) セジロウンカ

ア 箱施薬剤を使用しているほ場でも、薬剤によっては効果が劣る場合があるので発生に十分注意するとともに、トビイロウンカと併せて防除を行う。

イ 株当たり虫数が4頭以上になると稲の生育が抑制される。6月上旬に飛来した個体群については既に第1世代(飛来次世代)が生まれている。

ウ 飼料用稲(インディカ種)は、本虫に対する抵抗性が弱く、坪枯れ等が発生し易

いので、発生状況に十分注意する。防除に当たっては、「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」（平成26年12月第6版、平成29年12月1日一部改正）及び「飼料として使用する粳米への農薬の使用について」（平成21年4月20日付け21消安第658号、21生畜第223号関係課長通知、平成30年12月19日一部改正）、「飼料の有害物質の指導基準及び管理基準について」（昭和63年10月14日付け63畜B第2050号畜産局長通知、平成30年12月19日一部改正）に沿って、適期防除に努める。

(3) コブノメイガ

コブノメイガの飛来状況から発蛾最盛期を6月16日を起点に算出した（表4）。コブノメイガの防除適期は粒剤が発蛾最盛期、粉剤・液剤は若齢幼虫期（発蛾最盛期の1週間後）である。水田における発生状況を確認し、防除を行う。

表1 本年のトビイロウンカ誘殺状況 (単位：頭数)

調査地点	月 半旬	6月						7月			計
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	
国富町 (予察灯)	本年値	0	0	0	0	0	1	3	1	4	9
	平年値	0	0	0	0.5	0	2	0.3	0.3	1.2	4.3
都城市 (予察灯)	本年値	0	1	0	0	0	1	1	0	20	23
	平年値	0	0	0	0.1	8.6	1.2	5	0.6	0.8	16.4
延岡市 (予察灯)	本年値	0	0	0	0	0	2	0	16	2	20
	平年値	0	0	0	1.3	0.2	0.2	0.9	0.6	1.7	5
農業試験場内 (予察灯)	本年値	0	0	0	0	5	0	1	0	6	12
	平年値	0	0	0	0	0	0	0.1	0	0.2	0.3
農業試験場内 (ネットラップ)	本年値	0	1	0	0	0	0	0	3	2	6
	平年値	0	0	0	0	0.1	0.1	0	0	0.1	0.6
計	本年値	0	2	0	0	5	4	5	20	34	70
	平年値	0	0	0	1.9	8.9	3.5	6.3	1.5	4	26.6

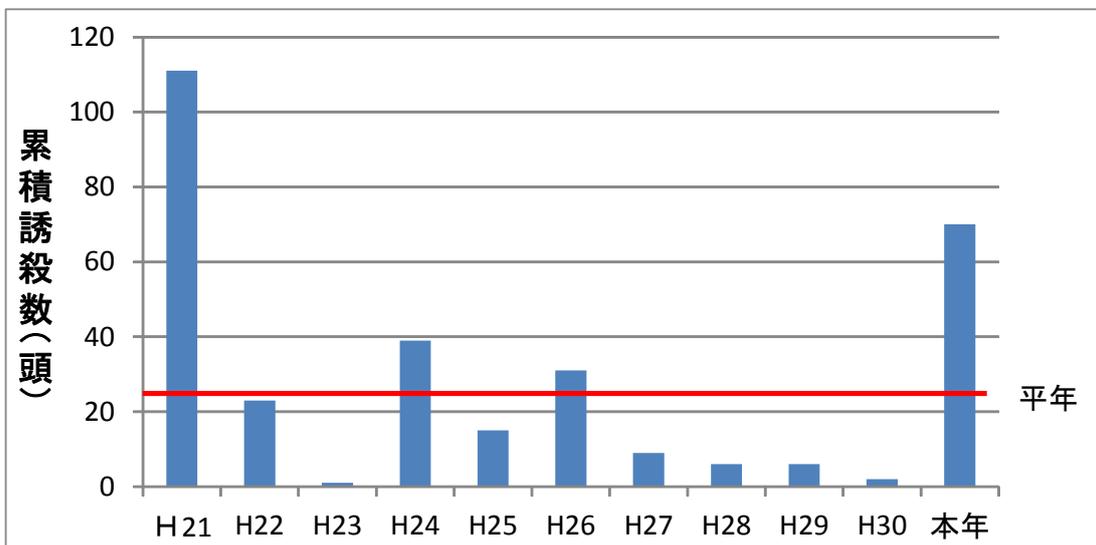


図1 予察灯におけるトビイロウンカの累積誘殺数 (6月1半旬から7月3半旬)

表2 本年のセジロウンカ誘殺状況

(単位：頭数)

調査地点	月 半旬	6月						7月			計
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	
国富町 (予察灯)	本年値	0	22	1	1	0	3	2	1	1	31
	平年値	0	0	0.2	6.1	27.6	2.9	16.7	7	3.1	63.8
都城市 (予察灯)	本年値	0	1	0	0	0	1	0	2	4	8
	平年値	0.2	14.2	3.9	18.4	73.4	15	466	10	20.4	621.5
延岡市 (予察灯)	本年値	0	0	0	0	0	4	6	6	1	17
	平年値	0.1	10.2	1.4	8.6	14	1.8	8.2	6.6	14.4	66.8
農業試験場内 (予察灯)	本年値	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	平年値	0	0.7	0.1	1.9	2.3	4.7	4.5	3.8	0.7	19.1
農業試験場内 (ネットラップ)	本年値	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	平年値	0.4	0.3	0.1	1.5	1.8	3.8	2	7.1	0.4	18.1
計	本年値	0	23	1	1	0	8	9	9	8	59
	平年値	0.7	25.4	5.7	36.5	119	28.2	497	34.5	39	789.3

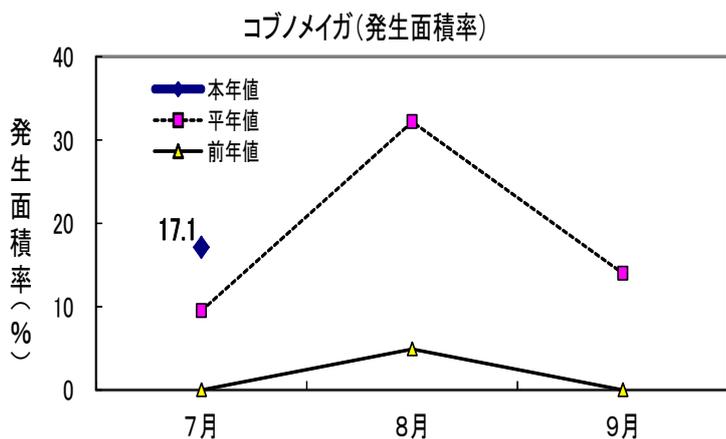


図2 普通期水稻調査ほ場でのコブノメイガ発生面積率

表3 予想されるトビイロウンカの防除適期
(7月10日飛来)

地域	第1世代防除適期	第2世代防除適期
宮崎	7月25日～8月1日	8月19日～8月27日
都城	7月25日～8月2日	8月20日～8月28日
小林	7月26日～8月2日	8月21日～8月29日
延岡	7月26日～8月2日	8月21日～8月29日
高千穂	7月28日～8月5日	8月26日～9月3日

表4 予想されるコブノメイガの防除適期
(6月16日飛来)

地域	粒剤	粉剤・液剤
宮崎	7月19日～7月25日	7月30日～8月4日
都城	7月20日～7月26日	7月31日～8月5日
小林	7月21日～7月27日	8月1日～8月6日
延岡	7月22日～7月28日	8月2日～8月7日
高千穂	7月25日～8月1日	8月6日～8月12日

- ・その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。
- ・6月1日から8月31日の3か月間、農薬危害防止運動を実施しています。ラベル表示の内容を十分に確認し、農薬使用基準を守って農薬散布を行い、危害防止に努めましょう。

《連絡先》

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 黒木

TEL:0985-73-6670 Fax:0985-73-2127

ホームページ: <http://www.jppn.ne.jp/miyazaki>

E-mail: byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp